

“幸せな帰町・復興”へのメッセージ

～震災から4度目の新年を迎える思い～

本年1月に「ふる里復興・再生、希望の年」と位置づけてスタートしてから、これまでに多くの課題への取組を進め、町職員一体となって復興のために全力で取り組んでおります。

平成27年4月には、県立中高一貫校「ふたば未来学園高等学校」が開校いたします。双葉郡内外から明るく希望に満ちた高校生たちが集い、躍動し成長する姿を想像すると、弾む思いがこみ上げて参ります。広野駅東側地区については、産業団地の形成により生活の場と働く場のゾーニングを図り、企業の進出により雇用や賑わいを創出することで、新しい時代のまちづくりに向けた復興の原動力にして参ります。

JR常磐線が広野駅から竜田駅まで運転を再開した際に列車が線路を走る音を耳にして感動したこと、福島民報社より県下の消防団に贈られる「民報金ばれん」を広野町消防団が受賞した際のパレードで町内を力強く歩む団員を目の当たりにして名誉と誇りを感じたこと、こうした喜びをこれからも皆様と共に積み重ね、新年に向けて次の施策を鋭意進めて参ります。

1 除染対策

除染については、山林を除いてほぼ終了しているところではありますが、去る6月に設置した「広野町除染等に関する検証委員会」における検証結果等を踏まえ、安全・安心に向けた取組を推進して参ります。

2 放射線対策

新たに開設した広野町放射線相談室を中心に、町民の皆様の心のケアと、放射線に関する正確な情報の共有化を図って参ります。

3 安全・安心の確保

誰もが安心して暮らせるまちづくりのために設置した「広野町安心・安全ネットワーク会議」を中心に、地元企業、復興業務のために町内に事業所を設置する企業、警察、消防、警戒パトロール隊との連携強化を図って参ります。子どもたちの安全確保に万全を期するため、広野小学校・広野中学校・ふたば未来学園高等学校への通学路を含むエリアに見守りカメラを設置して参ります。

4 医療体制の充実

医療に関しては、震災後いち早く高野病院、馬場医院が診療を再開しており、また、この7月には新妻歯科医院が診療を再開するなど、医療体制の整備は着実に進んでおります。しかしながら、現在、看護師等、医療従事者を確保することが多くの医療機関にとって共通の課題となっていることから、町内の医療機関のご要望を伺いながら、県並びにいわき市等との連携を強化し、医療体制のさらなる充実を図って参ります。

5 農業の振興

今年の水稲作付けの再開は、作付面積にして154ヘクタール、その農家は132戸となり着実に営農再開が進んでおり、国の補助事業等を活用してほ場整備事業を実施するなど農業再生の環境整備を推進し、農家のさらなる収益向上を後押しして参ります。

6 商業施設の充実

役場前への商業施設整備を進めることで、行政施設、教育施設が集中するエリアとしての機能強化を図り、買い物や役場での手続き等のワンストップサービスを推進して参ります。また、地元事業者等との連携により、町民が集う賑わいのあるコミュニティゾーンとなるように取り組んで参ります。

7 雇用の創出

広野駅東側開発地区や工業団地への新規企業の誘致を進めるとともに、商業施設の整備や火力発電所の増設工事の確実な着手等によって、雇用の場のさらなる充実を図って参ります。

8 防災拠点の整備

東日本大震災の被災経験を活かした広域的な防災の拠点、町内外生活者の地域コミュニティ交流施設等の機能を備えた“防災拠点道の駅ひろの”（仮称）の整備について、検討を進めて参ります。

大震災から3年9ヵ月が過ぎますが、汚染水の問題などは今なお収束せず、加えて、廃炉の完了までには長期間を要します。町に戻り生活を再開された方々、あるいは戻りたいという願いを持ちながらも町を離れた生活が続く方々が共に願う「希望」は、ふる里・広野で震災前の生活を取り戻すことでもあります。希望に向けて蒔いた種がやがて大きな実を結ぶことができるよう、来年1年間を“ふる里復興・再生「成長の年」”として、大切な種を育む心を持って、一步一步着実に復興への歩みを進めて参りたいと考えております。町の長期的な将来ビジョンとなる新たな「第五次町勢振興計画」及び「第二次広野町国土利用計画」の策定作業を進め、国・県と連携を強化し課題解決に努めて参ります。「サマーフェスティバル」「童謡まつり」「秋まつり」「ふる里ふれあいマラソン」の広野町4大イベントを始めとする各種行事や新たに誕生したイメージキャラクター「ひろぼー」の活躍により、明るく元気な広野町の姿を広く情報発信して参ります。ふる里広野町での生活を震災以前のように、町民の皆様と共に送りたいと願っております。町制75周年を向かえる来春に、町内外の皆様と共にふる里を守り、ふたば未来学園高等学校のこどもたちを温かく迎え、私たちのふる里を子々孫々へ継承して参りたいと存じます。

『全町民の皆様

幸せな帰町・復興に向け

ふる里にて共に歩みたいと願っております。』

平成26年12月吉日

広野町長

遠藤 智